

AIエージェントによる複雑な作業の 自動化

演習ガイド

はじめに	2
ユースケース : NexGen	2
サインイン	2
演習 1: AIエージェントの作成と構成	3
AIエージェントの作成	3
指示の入力	4
ツールの追加	6
入力を定義する	10
出力を定義する	10
AIガードレールでAIエージェントのやり取りを保護する	12
演習 2: AIエージェントのテストと監視	12
AIエージェントをテストする	12
開発者フィードバックを提供する	13
テストケースを作成してAIエージェントを評価する	14
AIエージェントを監視する	14
演習 3: AIエージェントをプロセスに追加する	15
UUIDを取得する	16
Execute AI Agentスマートサービスの設定	18
AIエージェント出力の解析	20
演習 4: 効率化されたプロセスをテストする	

権利に関する通知

本書はAppian Corporation (7950 Jones Branch Dr, Tysons, Virginia 22102)によって作成されました。
Copyright 2026 by Appian Corporation. All rights reserved. 本書の情報は予告なく変更される場合があります。
Appian Corporationの事前の書面による許可なく、本書の一部または全部を、いかなる形式または手段によつても複製または転送することはできません。転載または抜粋の許可の取得に関する詳細についてはAppian Training (academyonline@appian.com)までお問い合わせください。

はじめに

AIエージェントは、複雑で目標指向のタスクを自動化します。セキュアな境界とヒューマン・イン・ザ・ループによる監視を維持しながら、高度な自律性を必要とする AIエージェントを構築、テスト、監視できます。各 AIエージェントは、記述された指示と、Data Fabricおよびプロセスに接続する再利用可能なツールを組み合わせています。

このワークショップでは、柔軟な AIを活用したステップをプロセスモデルに追加することで、AIエージェントがプロセスオートメーションを強力に推進する方法を学びます。AIエージェントをプロセスモデルにデプロイすることで、構造、制御、ガバナンスがもたらされます。一般的なユースケースには、ケースのトリアージと解決の自動化、非構造化リクエストの解釈、コンテキストに基づく動的な作業の割り当てなどがあります。詳細については、Appianドキュメントを参照してください。

ユースケース: NexGen

NexGenは、注文フルフィルメントセンターを運営する流通会社です。Appianを活用し、ITプロビジョニングプロセスを近代化しています。現在、人事スペシャリストは、新入社員の役割、IT要件、在庫、特別プロジェクト、リクエストを評価する際に、複数のドキュメントとシステムを手動で突き合わせています。その後、機器を予約するか、オンボーディングケースをエスカレーションします。この時間のかかるプロセスは、不正確でポリシーに違反する ITパッケージを生み出しています。

サインイン

1. ワークショップ環境に移動してください。
2. Appian Community の認証情報を使用してサインインしてください。
3. 指示に従って、ワークスペースを取得してください。

Appian Designerには、複数の事前構築済みアプリケーションが表示されます。以下が含まれます:

- **W#IT Hardware Provisioning (W#IT): これらの演習を完了するための、あなた専用の編集可能なアプリです。**

重要:

ワークスペースを取得すると、プリビルトアプリのアプリプレフィックスに含まれるワークスペース識別子が割り当てられます。名前の競合を避けるため、この識別子をアプリプレフィックスに保持してください。例:



演習 1: AIエージェントの作成と構成



シナリオ

新入社員がNexGenに入社すると、ハードウェアパッケージが支給されます。割り当てられるハードウェアは、役割、勤務地、特別プロジェクト、本人のリクエスト、その他の要因によって異なります。確立されたポリシーがすべての状況に対応しているとは限らず、上司が判断を下す必要がある場合もあります。これは人事チームにとって時間のかかるプロセスです。

このボトルネックに対処するため、ハードウェアのプロビジョニングを処理し、より多くの判断が必要な場合には人間の承認を求めるケースを提起する AIエージェントを構築します。

AIエージェントは、ツールを使用して複雑なステップを分析・推論し、意思決定を行い、自動的にアクションを実行するデザインオブジェクトです。まず、Appian DesignerでAIエージェントを作成します。

AIエージェントを作成する

1. Appianデザイナーの[アプリケーション]ビューで、W#IT Hardware Provisioning (W#IT) アプリケーションを開きます。
2. [構築]ビューに移動します。 
3. [新規] > [AIエージェント]をクリックします。
4. [AI エージェントの作成]ダイアログで、以下を設定します:
 - **名前:** W#アプリプレフィックスの後に、 `provisionITPackage`と入力します。
 - **説明:** 以下を入力 `This AI agent evaluates new onboarding cases, determines the appropriate IT package, reserves equipment for the employee, and to supervisor review if needed.`
 - **Agent Type:** Process Agentを選択したままにします。



注記

作成できる AIエージェントには、プロセスエージェントとチャットエージェントの 2種類があります。

プロセスエージェントは、プロセスモデルに追加して、ユーザーの介入を必要とせずに定型タスクを自動化します。チャットエージェントは、インターフェイスに追加して、ユーザーが仮想アシスタントとの自然な会話を通じてアプリケーションのデータやプロセスを利用できるようにします。

5. [作成]をクリックします。
6. [AI エージェントセキュリティ のレビュー]ダイアログで、デフォルトのセキュリティ設定を確認します。次に
[保存]をクリックします。

指示を入力する

AIエージェントへの指示には、AIエージェントが従うべきステップや条件を明確に記述する必要があります。タスクをAIエージェントが理解できるよう、平易で具体的な言葉を使用することができます。

1. [説明書]の下に、以下をコピーして貼り付けます(2つに分けて入力する必要がある場合があります):

```
# Role: Autonomous IT Onboarding Specialist
```

```
## Goal
```

```
Determine the correct, policy-compliant IT onboarding package (hardware) for a new employee and execute the provisioning steps when appropriate, or escalate for supervisor review.
```

```
## Instructions
```

```
Before taking any action, first use your thinking process to outline the required steps. After analyzing the HR data and policy, reflect on the package's compliance and asset availability before making a final decision.
```

```
Use the IT Employee and IT Role tools to retrieve the employee's role and location. Use the Onboarding and Policy Documents folder to find appropriate policy and job requisition details.
```

```
Based on the role determine the standard equipment kit by checking the IT Standard Hardware Package record type and any special budgetary exceptions.
```

```
If the job requisition contains known project keywords (e.g., "Project Chimera"), fetch the required list of specialized hardware.
```

If the package is policy-compliant and all items are in stock, reserve the appropriate hardware for the new employee, and for the onboarding record set "statusId" to "2" (pending delivery). If updating note fields for any records, keep the character count under 200.

Escalation

If any of the following are true, escalate to the supervisorReview AI agent to make the best judgement:

- * If the job requisition contains known project keywords (e.g., "Project Chimera")
- * A critical asset (hardware) is out of stock.
- * You cannot identify an appropriate job requisition or standard package.
- * You cannot find a definitive answer after three tool calls.

After the supervisorReview AI agent completes the analysis, reserve the recommended hardware for the employee, and for the onboarding record, change "statusId" to "2" (Pending delivery).

Heuristics

Before creating any package, confirm that all required hardware assets are currently available in the IT Hardware Inventory record type.

Always determine whether an onboarding must be escalated to a supervisor and update the onboarding record: set "escalateToSupervisor" to "true" or "false" on the onboarding record. If a decision goes to the supervisorReview AI agent, "escalateToSupervisor" must be set as "true" so the assignment can be routed appropriately for review. If "escalateToSupervisor" is true, include a short, 1-3 sentence justification "escalationJustification" for the escalation and hardware selected.



注記

これらの指示は、**AI**エージェントが新入社員にハードウェアパッケージを割り当てるための指針を示すものです。具体的には次のことを行います：

- ポリシードキュメントと従業員の役割、標準ハードウェアパッケージ、および求人依頼に記載された特別プロジェクトを分析する。
- 別の**AI**エージェントによる上司へのエスカレーション判断の基準を適用する。
- 必要なハードウェアが在庫にあることを確認する。
- オンボーディングケースのステータスを更新し、**AI**エージェントの判断に基づいてハードウェアを割り当てる。

上記の指示は **Markdown** 形式で記述されています。**[Preview]** をクリックすると、読みやすい形式でテキストを確認できます。

ツールを追加する

ツールは、**AI**エージェントがその役割を遂行することを可能にするリソースです。**Appian** ネイティブツール、または **Model Context Protocol (MCP)** サーバーが提供する外部ツールを追加できます。このワークショップでは、**Appian** ネイティブツールを追加します。

最初に、ドキュメントツールを追加します。個別のドキュメントを追加することも、複数のドキュメントを含むフォルダーを追加することもできます。

1. [ツール]の下で、**[+ 追加]**をクリックします。
2. [ツールの種類を選択してください]の下で、**[ドキュメントフォルダー]**を選択します。
3. **[ドキュメントフォルダー]**で、**W#IT Onboarding and Policy Documents**を検索して選択します。このフォルダーには、**W#IT Corporate IT Procurement Policy**、**W#IT Regional IT & Data Compliance Policies**、**W#IT Job Requisitions**の3つのドキュメントが含まれています。
4. **[追加]**をクリックします。

次に、レコードタイプツールを追加します。

1. **[+ 追加]**をクリックし、**[レコードタイプ]**を選択します。
2. **[レコードタイプ]**で、**W#IT Employee**を検索して選択します。**[追加]**をクリックします。

3. レコードタイプツールをさらに 4つ追加します:

- **W#IT Hardware Catalog**
- **W#IT Hardware Inventory**
- **W#IT Role**
- **W#IT Standard Package**

4. [保存]をクリックします。



ヒント

AIエージェントにツールを追加する際は、以下のベストプラクティスに従ってください:

- 各ツールはタスク特化型にしてください。各ツールは、レコードの取得やプロセスの開始など、1つのことを適切に実行するように設計します。
- 重複するツールは避けてください。重複するツールは、混乱や精度の低下を引き起こす可能性があります。
- ツールには明確で意味のある説明を付け、AIエージェントがより適切な判断を下せるようにしてください。
- シンプルにしてください。ほとんどの AIエージェントは、15個未満のツールで最適に動作します。

W#プレフィックスが付いた状態で、[ツール]は次のように表示されます:

	W0002IT Onboarding and Policy Documents Document Folder • Job Requisition documents, company policies and guidelines	×
	W0002IT Employee Record Type • Stores data about employees	×
	W0002IT Hardware Catalog Record Type • Catalog of all kinds of hardware available	×
	W0002IT Hardware Inventory Record Type • Stores data about hardware inventory	×
	W0002IT Role Record Type • Contains the role options for Employees	×
	W0002IT Standard Package Record Type • Stores data about packages	×

次に、AIエージェントがプロセスモデルに対してアクションを実行できるようにするツールを追加します。

1. [+ 追加]をクリックし、[プロセスモデル]を選択します。
2. [プロセスモデル]で、W#IT Create Or Update Onboardingを検索して選択します。次に**[追加]をクリックします。**
3. プロセスモデルツールをもう 1つ追加してください：
 - **W#IT Reserve Hardware Inventory**

次に、別のAIエージェントをツールとして追加します。



シナリオ

Supervisor Review AIエージェントは、エスカレーションされたオンボーディングケースに対してハードウェアを推奨するために、人間らしい判断を提供します。エスカレーションのコンテキストを分析し、リクエストの「趣旨」を評価します。

また、スマート検索を使用したクエリを使用して、意味的に類似した、または概念的に類似したリクエストメモを持つオンボーディングケースを返します。スマート検索の詳細については、Appianドキュメントを参照してください。

1. [+ 追加]をクリックし、[AI エージェント]を選択します。
2. [AI エージェント]で、W#IT_supervisorReviewを検索して選択します。[追加]をクリックします。
3. [保存]をクリックします。



ヒント

複数のAIエージェントを作成して、特定の専門的なタスクを処理させます。

W#プレフィックスが付いた状態で、[ツール]は次のように表示されます：

	W0002IT Onboarding and Policy Documents Document Folder • Job Requisition documents, company policies and guidelines	×
	W0002IT Employee Record Type • Stores data about employees	×
	W0002IT Hardware Catalog Record Type • Catalog of all kinds of hardware available	×
	W0002IT Hardware Inventory Record Type • Stores data about hardware inventory	×
	W0002IT Role Record Type • Contains the role options for Employees	×
	W0002IT Standard Package Record Type • Stores data about packages	×
	W0002IT Create Or Update Onboarding Process Model • Create or update an onboarding	×
	W0002IT Reserve Hardware Inventory Process Model • Reserve hardware for an employee	×
	W0002IT_supervisorReview AI Agent • This agent evaluates escalated employee onboarding IT provisioning cases and determines the IT hardware	×



ヒント

AIエージェントを起動するユーザーは、その AIエージェントのすべてのツールおよび関連オブジェクトに対して、少なくとも **Viewer** (ビューア) 権限を保有している必要があります。

入力の定義

入力とは、AIエージェントがアプリケーションの他の部分から受け取り、ワークフローを進める際に考慮するデータまたはパラメータのことです。この AIエージェント用に1つの入力を作成してください。

1. [インプット]に移動します。[+ 追加]をクリックします。
2. [新しい入力]ダイアログで、以下を設定します：
 - **名前:** `onboardingCase`と入力します。
 - **説明:** 以下を入力 `The onboarding record for a new employee.`
 - **入力タイプ:** `レコードタイプ W#IT Onboarding`を選択します。
 - [必須]を選択します。

3. [保存する]をクリックします。

[インプット]は次のようになります：



出力を定義する

出力は、AIエージェントがアプリケーションの他の部分に渡す構造化データです。AIエージェントの実行後に行われる処理を決定するために、後でプロセスモデルで使用する 3つの出力を定義します。

1. [アウトプット]に移動します。[+ 追加]をクリックします。
2. [新しい出力]タブで、以下を設定します：
 - **名前:** `onboardingCase`と入力します。
 - **説明:** 以下を入力 `The updated onboarding case record for the employee`
 - **出力タイプ:** `レコードタイプ W#IT Onboarding`を選択します。
 - [必須]を選択します。
 - [保存する]をクリックします。

3. 2つ目の出力を追加する:

- **名前:** `escalateToSupervisor`と入力します。
- **説明:** 以下を入力 `Whether the onboarding requires manual review by a supervisor.`
- **出力タイプ:** ブール型を選択します。
- [必須]を選択します。
- [保存する]をクリックします。



注記

この出力は、後でプロセスモデルにおいて、オンボーディングケースが `supervisorReview` AIエージェントにエスカレーションされた場合に、フローをヒューマン・イン・ザ・ループのレビューへ導くために使用されます。これにより、エージェントによる高度な判断を必要とするハードウェア割り当てが、人間によって承認されることが保証されます。

4. 3つ目の出力を追加します:

- **名前:** `escalationJustification`と入力します。
- **説明:** 以下を入力 `1-2 sentence justification and action for the supervisor if the hardware assignment escalated`
- **出力タイプ:** テキストを選択します。
- [保存する]をクリックします。

5. AIエージェントの右上にある [SAVE]をクリックします。[Outputs]は次のようになります:

	onboardingCase W0002IT Onboarding • The updated onboarding case record for the employee	Required	×
	escalateToSupervisor Boolean • Whether the onboarding requires manual review by a supervisor	Required	×
	escalationJustification Text • 1-2 sentence justification and suggested action for the supervisor if the hardware assignment is escalated		×



ヒント

AIエージェントを設計する際は、プロセスやワークフローの一部に特化した AIエージェントを最初に作成することから始めてください。AIエージェントを十分にテストし、良好に動作することを確認したら、反復を開始し、必要に応じて複雑性を追加してください。

AIガードレールで AIエージェントのやり取りを保護する

AIガードレールは、システム管理者が管理コンソールで設定する、環境全体に適用されるコンテンツ安全ポリシーです。ガードレールは、すべての生成 AIインタラクションの入力と出力の両方を評価し、プロンプトインジェクションや個人識別情報 (PII) の漏えいなどのリスクから保護します。ガードレールがコンテンツをブロックすると、AIエージェントは設定されたブロックメッセージを受け取り、失敗するのではなくワークフローを続行します。

1. [ガードレール]タブに移動します。
 - ワークショップ環境には、AIガードレールは設定されていません。

演習2: AIエージェントのテストと監視

AIエージェントをテストする

AIエージェントをテストすることで、期待どおりに動作することを確認し、改善すべき領域を特定できます。管理された環境で、入力、出力、およびツールの操作を検証できます。

テストデータを入力し、AIエージェントがその入力をリアルタイムで処理の様子を確認できます。

1. [テスト]ペインの[インプット]の下に、オンボーディングケースの入力値を入力します。
 - **式: 式エディターに以下の式を入力します。このクエリは、IDによってオンボーディングケースを取得します。「#」をあなたの4桁のワークスペース番号に置き換えてください。**

```
rule!W#IT_getOnboardingCaseById(120)
```

新入社員のAmanda Thompson氏 (employeeId 17) のオンボーディングレコード IDを入力しました。彼女はモントリオール勤務のセールスアソシエイトで、特定のハードウェア要件やリクエストはありません。

2. [テストする]をクリックします。

AIエージェントの設定の複雑さや入力内容によって、処理時間は異なる場合があります。この AIエージェントは、数分以内に処理を完了します。



ヒント

AIエージェントの処理をリアルタイムで確認できます：

- AIエージェントが完了する各ステップ。
- データがどのようにプッシュおよびプルされるか。
- 入力がどのように使用され、指示に基づいて出力がどのように生成されるか。

生成AIは非決定的であることに注意してください。同じ入力を与えられた場合でも、異なる出力を生成する可能性があります。

3. 完了したステップを展開して、AIエージェントが使用したツールと、次のステップに関するその推論を確認します。探索する際に、以下の質問を考慮してください。

- AIエージェントは適切な求人依頼を特定しましたか？ **Equipment Provisioning** サイト > **[Documents]** ページに移動して、各種の **HRドキュメント** を確認できます。
- AIエージェントはこのオンボーディングケースを **supervisorReview** AIエージェントにエスカレーションしましたか？
- AIエージェントは従業員のためにハードウェアを予約しましたか？



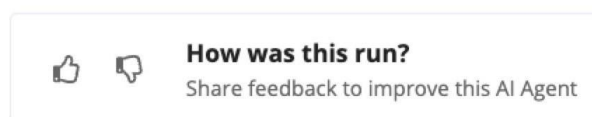
ヒント

AIエージェントを設計する際は、プロセスやワークフローの一部に特化した AIエージェントを最初に作成することから始めてください。AIエージェントを十分にテストし、良好に動作することを確認したら、反復を開始し、必要に応じて複雑性を追加してください。

開発者フィードバックを提供する

AIエージェントのテスト実行が完了したら、フィードバックを提供できます。フィードバックにより、AIエージェントの品質を長期的に追跡するためのデータが得られ、開発者が AIエージェントの指示やツールを更新する際に役立ちます。

1. [テスト]ペインの下部、[アウトプット]の下にある高評価(いいね)アイコンをクリックして、フィードバックを残します。



2. [フィードバック]フォームの[コメント]に、以下を入力します:

```
The outputs were returned as expected for a sales associate role.
```

3. [保存する]をクリックします。

テストケースを作成して AIエージェントを評価する

先ほど、AIエージェントが期待どおりに動作することを確認するテストを行いました。また、後で繰り返し実行できるテストケースを定義して、AIエージェントが更新されたり環境間で移行されたりしても、長期にわたって期待どおりに動作することを検証できます。さまざまなユースケースをテストし、その結果を基に、必要に応じて指示やツールを更新することが重要です。

1. [テスト]ペインの右上にある[テストケースとして保存]をクリックします。
2. [新しいテストケース]ダイアログで、以下を設定します:

- **テストケース名** : **Basic Assignment**と入力します。

- **説明**: 以下を入力 Tests a basic hardware assignment with special projects or .
- **[SAVE]**をクリックします。

3. AIエージェントの右上にある[保存]をクリックします。
4. [評価します]タブに移動します。

[評価]タブでは、テストケースの作成と編集、および評価の実行ができます。評価では、すべてのテストケースを同時に実行できます。テストケースの実行後には、その出力に対してフィードバックを提供することもできます。

5. [テストケースの管理] (1)をクリックします。先ほど作成したテストケースが表示されます。

AIエージェントを監視する

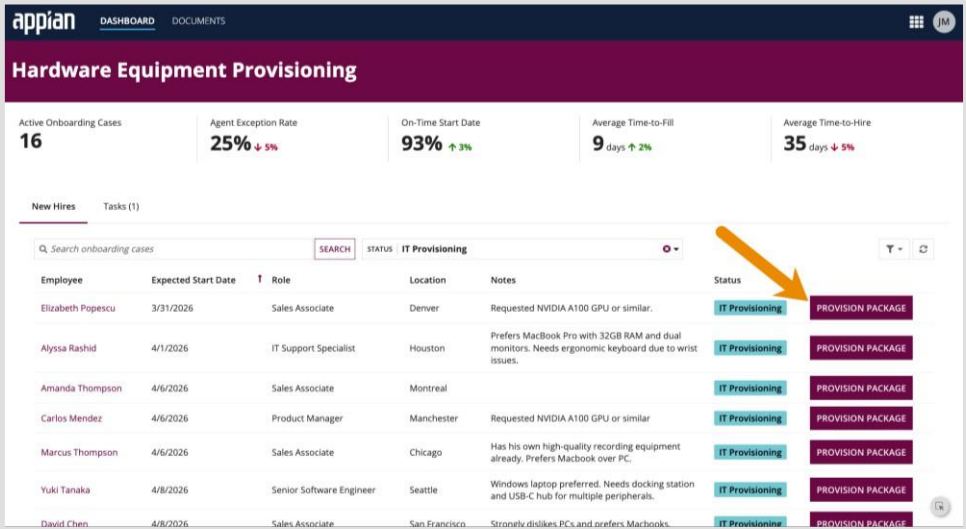
[モニター]タブでは、AIエージェントのパフォーマンスを追跡できます。テストケースを含む、この AI エージェントに対するすべてのリクエストのログが表示されます。AIエージェントが呼び出したツールの数、誰がリクエストを開始したか、AIエージェントがリクエストの完了に要した時間など、役立つ詳細を確認できます。

1. AIエージェントで、[モニター]タブに移動します。先ほど実行した AI エージェントの実行履歴が1行のテーブルとして表示されます。
2. 実行のIDをクリックして開きます。AIエージェントのツール呼び出し、入力、出力、推論の詳細に加え、その実行に対して提供された開発者フィードバックが表示されます。

演習3: AIエージェントをプロセスに追加する

プロセスモデルからAIエージェントを呼び出すことにより、ビジネスワークフローに直接統合することができます。

この演習では、Equipment Provisioningサイトのボタンに関連付けられたプロセスモデルを更新します。Execute AI Agentスマートサービスを使用してAIエージェントをプロセスモデルに組み込み、その後、AIエージェントの出力を解析して、プロセスモデルの残りの部分全体で利用できるようにします。最後に、Equipment Provisioningサイトで、[PROVISION PACKAGE]をクリックしてAIエージェントを起動します。



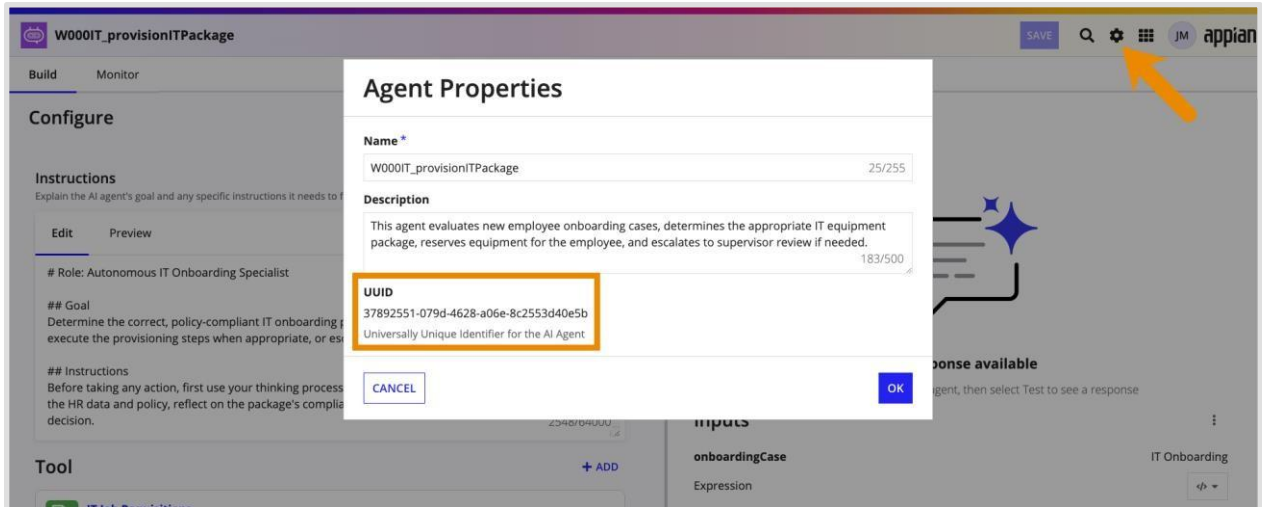
Employee	Expected Start Date	Role	Location	Notes	Status	Action
Elizabeth Popescu	3/31/2026	Sales Associate	Denver	Requested NVIDIA A100 GPU or similar.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
Alyssa Rashid	4/1/2026	IT Support Specialist	Houston	Prefers MacBook Pro with 32GB RAM and dual monitors. Needs ergonomic keyboard due to wrist issues.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
Amanda Thompson	4/6/2026	Sales Associate	Montreal		IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
Carlos Mendez	4/6/2026	Product Manager	Manchester	Requested NVIDIA A100 GPU or similar.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
Marcus Thompson	4/6/2026	Sales Associate	Chicago	Has his own high-quality recording equipment already. Prefers MacBook over PC.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
Yuki Tanaka	4/8/2026	Senior Software Engineer	Seattle	Windows laptop preferred. Needs docking station and USB-C hub for multiple peripherals.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE
David Chen	4/8/2026	Sales Associate	San Francisco	Strongly dislikes PCs and prefers Macbooks.	IT Provisioning	PROVISION PACKAGE

UUIDを取得する

AIエージェントをプロセスから実行するには、その UUID(汎用一意識別子)が必要です。

1. AIエージェントで、[設定] > [プロパティ]に移動します。[エージェントプロパティ] ダイアログの下部にある UUIDをコピーします。





Execute AI Agentスマートサービスを設定する

次に、AIエージェントをプロセスモデルに追加します。

1. W#IT Hardware Provisioningアプリの[構築]ビューに戻り、W#IT Provision Hardware Packageプロセスモデルを開きます。
2. Execute AI Agentノードをダブルクリックして、そのプロパティを設定します。
3. [データ]タブに移動します。
4. [入力]タブで、Agent UUIDを選択します。
5. 値には、式エディターを選択します。プレースホルダーテキストを削除します。
6. AIエージェントのUUIDを引用符で囲んで入力します。例：



7. [式のエディタ]ダイアログで、[保存して閉じる]をクリックします。

次に、プロセスからAIエージェントに入力データを渡します。このプロセスモデルには、onboardingCaseプロセス変数のほか、後で使用するいくつかの変数がすでに設定されています。参考までに、以下のスクリーンショットはプロセスモデルのプロパティのものです：

Process Model Properties » IT Provision Hardware Package

General

Variables

Process Start Form

Deadlines

Alerts

Data Management

Process Variables

+ Add Variable

Name	Type	Value	Parameter?	Required?	Multiple?	Hidden?	
agentOutputs	Map	(No Value)	No	N/A	No	No	✗
escalateToSupervisor	Boolean	(No Value)	No	N/A	No	No	✗
escalationJustification	Text	(No Value)	No	N/A	No	No	✗
onboardingCase	IT Onboarding (Record Type)	(No Value)	Yes	No	No	No	✗
runId	Number (Integer)	0	No	N/A	No	No	✗
runSummary	Text	(No Value)	No	N/A	No	No	✗

マップを使用して、同じ名前の **AI** エージェントの入力に **pv!onboardingCase** を渡します。マップ内のキーは、**AI** エージェントの設定で定義した入力変数名と一致している必要があります。

1. [入力] タブで、**Agent Inputs** を選択します。
2. 値には、式エディター (鉛筆アイコン) を選択します。プレースホルダーテキストを削除し、次の式を入力します：

a!map (onboardingCase:

✎

≡

≡

≡

/ *

Q

✕

x!

f*

★

π

□

🌐

1 ▾ =a!map(onboardingCase: pv!onboardingCase)

3. [保存して閉じる] をクリックします。

出力は、**AI** エージェントがアプリケーションの他の部分に受け渡す構造化されたデータポイントです。

1. [出力] タブに移動します。
 - デフォルトの出力は、**Agent Outputs**、**Run Summary**、**Run ID** の3つです。
2. **Agent Outputs** を選択します。ターゲットには、**agentOutputs** を選択します。
3. **Run Summary** を選択します。ターゲットには、**runSummary** を選択します。
4. **Run ID** を選択します。ターゲットには、**runId** を選択します。

5. [構成する Execute AI Agent]ダイアログで、[OK]をクリックします。

AIエージェントの出力を解析する

AIエージェントの出力はマップとして返されるため、定義した特定の出力を簡単にインデックス指定して取得できます。次に、スクリプトタスクを使用して AIエージェントの出力からデータをパースし、プロセスの後半でアクセスできるようにします。

まず、AIエージェントのエスカレーション判断出力を解析して新しいプロセス変数に変換するカスタム出力を作成します。

1. **Parse Agent Outputs**ノードをダブルクリックして、そのプロパティを設定します。
2. [データ]タブに移動します。
3. [出力]タブに移動し、[+新しいカスタム出力]をクリックします。
4. 式には、式エディターを選択し、以下の式を入力します:

```
pv!agentOutputs.escalateToSupervisor
```
5. [保存して閉じる]をクリックします。
6. ターゲットには、**escalateToSupervisor**を選択します。

次に、オンボーディングをエスカレーションするかどうかに関する AIエージェントの判断をプロセス変数に解析するためのカスタム出力を作成します。

1. [+新しいカスタム出力]をクリックします。式には、式エディターを選択し、以下の式を入力します:

```
pv!agentOutputs.escalationJustification
```
2. [保存して閉じる]をクリックします。
3. ターゲットには、**escalationJustification**を選択します。
4. [構成する Parse Agent Outputs]ダイアログで、[OK]をクリックします。
5. [ファイル] > [保存 & 公開]に移動します。

プロセスモデルの残りの部分は既に設定済みです。XORゲートウェイとユーザー入力タスクをクリックして確認できます。

ケースがエスカレーション済みとしてマークされている場合、XORゲートウェイはプロセスを上司のレビューへ導きます。

Configure Supervisor Approval? ✕

General
Decision

Flows

➡ **Incoming Path(s):** 1 or more paths can enter an XOR gateway

➡ **Outgoing Paths:** 1 or more paths can exit an XOR gateway, but only ONE gets executed

Conditions

	Condition	Result	Path Label	Order
✕	If =pv!escalateToSupervisor is True	go to Supervisor Review		
	Else if no rules are TRUE	go to End Node		

NEW CONDITION

IT Supervisorsグループのユーザーは、ハードウェア割り当てに関する AIエージェントの提案をレビューするタスクを受け取ります。Supervisor Reviewノードは、AIエージェントの推論を確認できるように、AIエージェントの根拠メモもフォームに渡します。

Configure Supervisor Review ✕

General
Data
Forms
Scheduling
Assignment
Escalations
Exceptions
Other

Inputs
Outputs

Node Inputs Map the value(s) for the inputs of the node

+ New Input
✕ Delete Input

(Text)
☒ onboarding (IT Onboarding (Record Type))

Field Properties

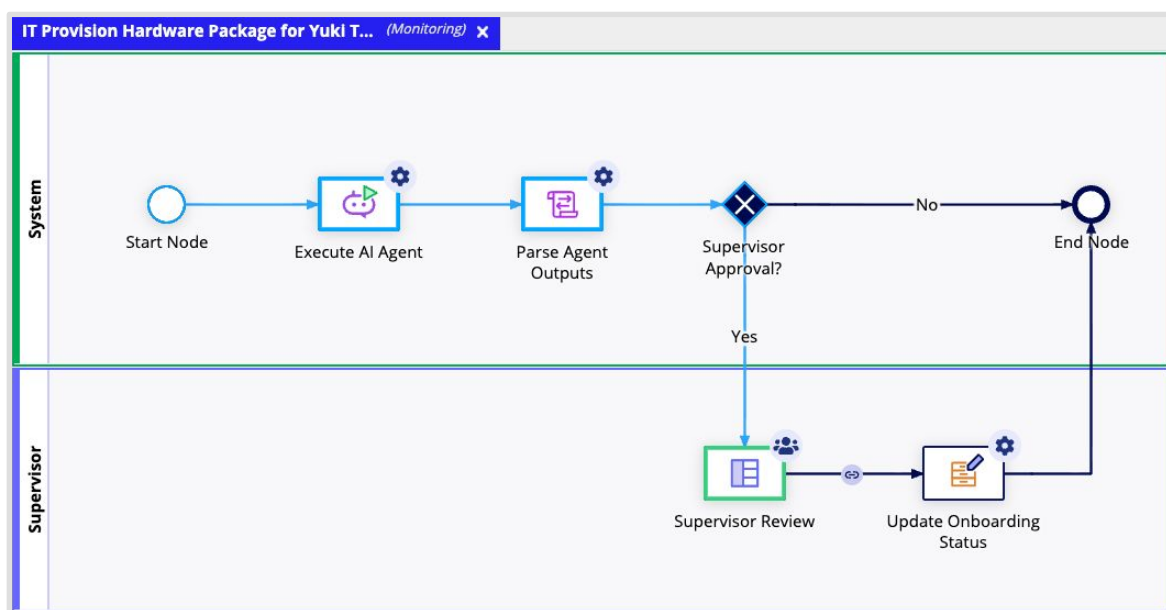
Name	escalationJustification
Type	Text
Multiple	☐
Value	=pv!escalationJustification
Required	☐
Save into	escalationJustification

このプロセスは、この演習用に簡略化されている点に注意してください。より大きなプロセスのサブプロセスとして追加したり、上司がハードウェアの割り当てを変更できるようにしたり、予約済みハードウェアの納品をスケジュールしたりすることも可能です。

演習4: 効率化されたプロセスをテストする

この演習では、プロセス全体をテストし、結果を確認します。

1. プロセスモデルを開いたまま、別のタブで [Navigation Menu] (ナビゲーションメニュー) > Equipment Provisioningに移動します。
2. オンボーディングケースのグリッドで、Yuki Tanakaの[PROVISION PACKAGE]をクリックします。
3. Provision Hardware Packageプロセスモデルに戻ります。
4. ツールバーで、[プロセスインスタンス]をクリックします。
5. [プロセス名]の下で、最新のW#IT Provision Hardware Packageインスタンスを選択します。
 - プロセスは、まだExecute AI Agentスマートサービスの箇所で停止している可能性があります。ツールバーの更新アイコンをクリックして、プロセスインスタンスを更新します。
 - Execute AI Agentノードが完了したら(青色でハイライト表示されます)、次のステップに進みます。
6. プロセスインスタンスのフローを確認します。オンボーディングケースにレビューが必要ない場合は、End Node(終了ノード)にルーティングされます。それ以外の場合は、Supervisor Reviewユーザー入力タスクにルーティングされます(以下のスクリーンショットを参照)。



次に、Equipment Provisioningサイトに戻り、オンボーディングケースの更新内容と関連するタスクを確認します。

1. Equipment Provisioningサイトに戻ります。
2. [STATUS]で、Xをクリックしてデフォルトのフィルターを削除します。

Yuki Tanakaのオンボーディングケースのステータスは、Pending Deliveryに変わっているはず
です。

Employee	Expected Start Date ↑	Role	Location	Notes	Status
Elizabeth Popescu	8/4/2026	Sales Associate	Denver		IT Provisioning
Alyssa Rashid	8/5/2026	IT Support Specialist	Houston	Standard Support Kit assigned. Dell Latitude 5455 OOS; supervisor approved Dell Latitude 7420 as alternative. All items reserved.	Pending Delivery
Amanda Thompson	8/10/2026	Sales Associate	Montreal	Standard Sales Kit assigned. Assets 30, 7, 9 reserved for employee 17.	Pending Delivery
Carlos Mendez	8/10/2026	Product Manager	Manchester	Requested NVIDIA A100 GPU or similar	IT Provisioning
Marcus Thompson	8/10/2026	Sales Associate	Chicago	Has his own high-quality recording equipment already. Prefers Macbook over PC.	IT Provisioning
Yuki Tanaka	8/12/2026	Senior Software Engineer	Seattle	Project Chimera - Job Req 81-114E. NVIDIA A100 GPU approved by supervisor per policy 5.2 exception. Asset ID 17 reserved.	Pending Delivery

3. Yuki Tanakaをクリックして、この新入社員のオンボーディングケースを開きます。
 - 割り当てられたハードウェアのリストや、ケースが上司のレビューにエスカレーションされたかどうかを含む、オンボーディングケースのサマリービューが表示されます。

4. Equipment Provisioningサイトに戻ります。

- ケースにエスカレーションが必要な場合は、[タスク]タブにタスクが表示されます（ページの更新が必要な場合があります）。このタスクは、**AI**エージェントによってトリガーされた例外を上司が承認または却下するためのものです。

New Hires		Tasks (2)		
All statuses				
Name	Received	Status	Assigned To	
Review Hardware Package for Alyssa Rashid	Aug 4, 2026, 2:14 pm	Assigned	IT Supervisors	
Review Hardware Package for Yuki Tanaka	Aug 3, 2026, 7:04 pm	Assigned	IT Supervisors	

これで、人事スペシャリストはワンクリックで新入社員の **IT**プロビジョニングを迅速化できます。



おめでとうございます！このワークショップを完了しました。